

【高等学校用】

令和4年度学校評価計画

達成度(評価)  
**A**: 十分達成できている  
**B**: おおむね達成できている  
**C**: やや不十分である  
**D**: 不十分である

学校名	佐賀県立牛津高等学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学力向上」・「心の教育」・「健康・体づくり」については、おおむね目標を達成することができた。</li> <li>「業務改善・教職員の働き方改革」については、時間外勤務時間の平均が前年度より増加するなど、課題が残っている。</li> <li>「魅力ある学校づくり」については、残念ながら志願倍率が1倍を割り込み、課題として残った。</li> </ul>
2 学校教育目標	変化の激しい時代にあっても常に志を強く持ち、知性と慈愛をもって人々の暮らしに安心と豊かさを提供し、よりよい未来を創造できる人材を育成する。 また、住民との協働により、地域をデザインし地域に活力をもたらす存在として、心身ともに健全で調和のとれたチャレンジ精神あふれる人材を育成する。
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の基礎学力や専門的な知識・技術を確実に定着させる取組を継続し、進路実現につなげる。</li> <li>ボランティア活動や地域との協働などを通して、生徒の主体性や積極性を高め、思いやりの心を育む取組を充実させる。</li> <li>学校魅力強化委員会(学校運営協議会)を活用し、地域に開かれた魅力ある学校づくりを推し進め、選ばれる学校を目指す。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標 (数値目標)							
●学力の向上	○共通教科の基礎学力の向上	○基礎力診断テストの成績でD1以上の生徒の割合を80%以上にする。	・基礎学力の定着と向上に向け、授業の工夫・改善を図るとともに、適切な課題の出し方について、教科内で共通理解を図り、実践する。	・	・	・	・	・	・
	○★専門的学習の基礎・基本の定着	○★家庭科技術検定の合格率100%とし、基礎・基本の定着を図る。	・指導方法や教材についての研究を行うと共に生徒個々の到達度に応じた指導を行い、技術の到達度を評価する実技テストを実施する。	・	・	・	・	・	・
	○★起業家マインドの育成	○★主体的に資格や検定、コンテスト、ボランティア活動や地域との活動などチャレンジする生徒を70%以上にする。	・家庭に関する専門科目間及び他教科との連携をこれまで以上に取りながら、特に、「生活産業基礎」「起業家入門Ⅰ・Ⅱ」の指導内容を充実し、効果的に実施する。	・	・	・	・	・	・
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○倫理観や正義感などに関連する講演会を年4回以上開催する。	・性に関する講演会、薬物乱用防止講話等の開催を通して、自分や他人を大切にすることを育成する。	・	・	・	・	・	・
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの早期発見に積極的に取り組んでいると感じている生徒・保護者の割合が75%以上 ○いじめの解消率100%	・学校生活アンケート(年2回)を実施するとともに、日頃から生徒の観察や面談等によるきめ細かな対応を徹底する。 ・問題が発生した場合は、迅速に会議を開き、組織的な対応を図る。	・	・	・	・	・	・
	◎★志を高め、思いやりの心を持った他人のために働くことのできる生徒の育成	○★ボランティア活動や地域との活動など協働活動に参加する生徒の割合を70%以上とする。	・地域課題や身の回りの課題解決のために様々な人々と交流・協力し合い活動できる生徒を育てるボランティア活動の充実を図る	・	・	・	・	・	・
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	○朝食喫食率を95%以上にする。 ○「健康に食事は大切である」と考える生徒を100%にする。	・朝食の大切さについて、保健だよりで発信する。 ・食に関するアンケート調査を行う。 ・家庭科の授業と連携し、望ましい食習慣について考える機会を持たせる。	・	・	・	・	・	・
	●安全に関する資質・能力の育成	○防災に対する意識が高まったと考える生徒の割合を80%以上にする。	・防災避難訓練を通して防災に対する意識の向上を図る。 ・防災に関するアンケート調査を行う。	・	・	・	・	・	・
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日を設定する。 ・学校閉庁日を設定する。 ・部活動休業日を設定する。 ・年休・振休取得を奨励する。	・	・	・	・	・	・
	○教職員のスキルアップによる業務効率化	○オンライン授業、ライブ配信をするための機材設置、配線、配信を全ての教職員ができるようになる。	・機材設置、配線、配信についての研修会を開催する。	・	・	・	・	・	・
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
	重点取組内容	成果指標 (数値目標)							
★学校の魅力強化及び広報活動の充実	★習得した専門的知識や技術をふまえた希望進路の実現	★個に応じた進路希望の推進を行い、進路内定率100%を維持する。 ★教育系・食料・家政系等の大学・短大・専門学校進学を80%以上とする。	・四年制大学の受験希望者に対する早期受験対策を構築する。 ・進路希望企業の求人依頼や新規開拓を行う。 ・担任及び学科、就職支援員との密な情報交換を行う。	・	・	・	・	・	・
	★選ばれる学校に向けた広報活動の工夫	★高校進学説明会は県内5か所すべてに参加する。 ★本校生徒が参加する小中学校への出前授業に4回以上出向く。 ★学校ホームページの学校活動等に関連するものを1回以上更新する。	・説明会やウェビナーでは、生徒のアンケート調査などをもとに各科の魅力や学校生活が具体的にイメージできる説明を行う。 ・生徒の活動等をこまめに記録し、ホームページ等で発信を行う。 ・魅力化推進コーディネータを活用する。	・	・	・	・	・	・
	★コミュニティ・スクールの効果的な運用	★学校運営協議会を年間4回以上開催する。 ★各委員の「積極的な学校運営への参画」に対する満足度を80%以上とする。	・学校運営協議会及び部会内での意見をもとに、学校魅力化の活動につなげる。 ・委員による学校行事等への参加を積極的に推進し、学校を身近に感じてもらう。	・	・	・	・	・	・

●...県共通 ○...学校独自 ◎...志を高める教育 ★...唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------